

# ろばと野草

VOL. 101



「上州（群馬県）連山」車屋金港虎次郎・画人(百合の樹)

## 101号 目次

- 訪問取材 ～GHこもれび編～
- 事業所紹介 ろばの家だより 百合の樹通信  
はだしの邑通信 グループホームより
- それぞれの声
- 「なぜ、精神障がい者の支援なのか？」 理事長 瀬戸英治
- ありがとうございました

特定非営利活動法人 ろばと野草の会 2024年11月1日発行





# 訪問取材

## ～ グループホームこもれび 編 ～

令和6年(2024年)9月20日(金) 西村、宮崎

### ○はじめに

9月20日金曜日午後2:00～グループホームこもれびに、ろばと野草の会広報部西村、宮崎2名で取材に行ってきました。平成27年(2015年)3月以来の訪問になります。

周辺の町の様子は当時は人通りも多く賑わっていましたが、今の蒔田(まいた)商店街はシャッターが閉まっているお店が多く、驚きと寂しさを感じました。

これからグループホームに入ろうとする方たちに「グループホームってこういうところだよ」ということが会報を通して伝えればよいと思います。

### ○グループホームこもれびの入居者さんたちへインタビュー！

今回はK.S.さん、N.N.さん、T.N.さんの3名がインタビューに答えてくださいました！

その中から質問ごとにピックアップしてお伝えします！



左からK.S.さん、N.N.さん、  
インタビュアーの西村、T.N.さんです！

Q. いつから入居していますか？

A. こもれびに入る前は他の施設で暮らしていましたが、時間に厳しいなど制限が多く窮屈な思いをしていました。

そんな時にはだしの邑の施設長から「こもれびというグループホームができる」と紹介され平成27年(2015年)2月6日に入居しました。はじめは他に誰も入居者がいなかったの鍵の番をして3日くらいはひとりで住んでいましたね。

Q. 日中はどのように過ごしていますか？

A. 屏風ヶ浦(びょうぶがうら)にある地活(注釈: 地域活動支援センターのこと)に2月から通っています。朝起きるのが辛い時もあるので午後から行くようにしてその帰りに買い物に行っていますよ。

Q. ご飯の用意や買い物はどうしていますか？

A. 87歳になるから自分では作ってられないよ。自分でご飯を作るという手間がかからないのもグループホームの魅力だね。夕食は美味しいけど年なので全部は食べられないね

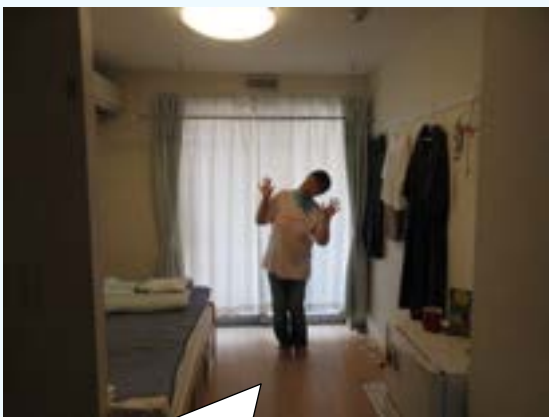
Q. 休日はどう過ごされていますか？

A. 「文章を書いている。今はこんなもの(書いた文章を見せてくれましたが紙面の関係上載せられませんでした。ごめんなさい!)を書いているんだよ」T.N

「休みの日は家事をしています。朝のルーティーンが決まっているんですよ」N.N

「自転車でサイクリングに出かけています」

K.S



N.N.さんのお部屋です。  
とても綺麗にされていました。見習いたい！





Q. グループホームの魅力はなんですか？

また、こもれびの良い所はどんなところですか？

A. グループホームとしては最高な所で、自分の家のように暮らせています。職員さんもよく相談に乗ってくれて、書類が届いたときなども一緒に手伝ってくれるんですよ。仕事に元気で行かれているのもグループホームに住んでいるからだと思います。

## ○職員さんにも話を聞いて見ました！

・高山さんより

こもれびに配属になって2年目です。はじめは夕食は月10回程度でしたが、みんなの希望でほぼ毎日提供するようになりました。

みんなが毎日楽しく過ごせるといいなと思っていて、何か変化を感じた時にはお声かけするように心がけています。

職員も一緒になってきゃぴきゃぴおしゃべりするようなときもあるんですよ。



\*グループホームこもれびからのお知らせ  
グループホームこもれびでは、ただいま女性入居者を1名募集しております。

お問合せは  
「045-715-7162」(高山)  
までお願いいたします。

## ○おわりに

取材をして、利用者の日常生活支援(相談、食事提供など)を通して、利用者の方々が安心して地域で暮らせる所と3名の利用者と高山さんの話を聞かせてもらって皆さんのこもれびに住んでみて良かったという気持ちを感じました。

建物全体が明るくて、入居している方が快適に過ごせそうな場所だなと感じました。グループホームというよりも憩いの場なのかなとも感じました。

職員の高山さんとK.Sさん、N.Nさん、T.Nさん、取材に協力してくださりありがとうございました。西むら

# ろばの家だより

〒231-0025  
 横浜市中区松影町3-1 1-2 三和物産ビル3 F  
 Tel/Fax 045-671-9083  
 e-mail: robanoie@muh.biglobe.ne.jp

メンバーさんからリクエストを取り、7/31 レクリエーション(カラオケ)を実施しました。  
 6/25 断水のため、ランチ会で中区扇町にあるスंगाバ(インド料理)へ行きました。

## 🎤 カラオケレクリエーション 🎤



☆メンバーさん感想☆  
 ・人数によっては時間をもっとながくしたい(Tさん)  
 ・ストレス発散できて気分転換になった(Kさん)

## 🍛 カレー屋さん 🍛



☆メンバーさん感想☆  
 ・スパイスがきいていておいしかった(Uさん)  
 ・また行きたい! ご飯がお代わり無料だった(Fさん)

# 百合の樹通信

〒231-0033  
 横浜市中区長者町4-10-1 パルム長者町201  
 TEL: 050-3609-3278 FAX: 045-211-9030  
 E-mail: yurinoki@ray.ocn.ne.jp

こーんな大きな骨を見ました!  
 9月11日巨大恐竜展にて (パシフィコ横浜)



## ～夏の思い出をうかがいました～

- ・甲子園が開園100周年記念だったそうですが、観戦を楽しみました。(F)
- ・今年の夏は人生で、初めて、何も無い夏でした。あと、ケガをしない夏で良かったです。(S)
- ・夏バテがひどかった!(いなばあの白うさぎ)
- ・暑かったです。(T.M)
- ・家でカップの氷アイスを食べた夏だなと思った。(R・A)
- ・オリンピックを観た!
- ・生ビールがうまかった!(O)
- ・高校野球を観てるのが楽しかった。(K)
- ・夏休みの宿題を全部やったことは一度もない。(M・K)
- ・27歳の青年だった時、今は入山が制限されている尾瀬に行ったことを思い出します。(車屋虎次郎)



# はだしの邑通信

〒231-0843

横浜市中区本郷町 1-2 小倉ビル 2 階

TEL/FAX : 045-625-2509

MAIL : hadashi85@yahoo.co.jp

今回は 6 月に行ったプール清掃と 7 月に行った体験談発表、余暇活動をご紹介します！

毎年恒例の小中学校プール清掃！  
異常に暑い夏でみんな真っ黒にな  
って一生懸命やっていました！



7 月に横浜市病院協会看護専  
門学校にて体験談発表をして  
きました。

準備を一生懸命に行い、当日  
はとても緊張していたようで  
したがしっかりと自分の人生  
を話してることができました。  
お疲れ様！



体験談発表をした N. Y さん

作業終りの余暇活動。  
いざ尋常に勝負！



## 🏠 グループホームより

### GH 見晴より



この 8 月から、生協の配  
達を頼む入居者さんが増  
えました。

皆さんそれぞれがカタ  
ログを見てあれやこれや  
とお選びです。

1 週間後の配達が楽しみ  
です！

### こもれびより

開所当初より入居されていた  
方が、長年の目標であった一人暮  
らしを始める事となり、こもれび  
を卒業されました。

支援者のサポートを  
受けて、自分らしい  
生活をされています。



### バイサイド西之谷より

募集していた 203 号室に入居される方が決まって、8 月に無事に入居されました！

1 ヵ月が経ち、落ち着かれたところで感想を伺ってみました。「住んでいる皆さん感じの良い方ばかりでよかったです。食事もおいしくていつも全部いただいています」と、とても丁寧に答えて下さいました(^^♪



## それぞれの声

それぞれの声は、利用者の方々の自由な投稿の場で

### あるSFファンから～43～

A.Y

「あるSFファンから～その17～」でも書きましたが、漫画家の J 先生との出会いと別れによって僕の人生が変わったのです。転落人生の一步。生活費のために仕方なく杉田の工場や本牧の工場で働いたあげくに精神疾患。1993 年から 1996 年まで、31 歳から 34 歳まで辛かったです。そのあたりの 1990 年代の話って、どんな歌がはやっていたとか、どんな小説が売れたとか、よく憶えていません。

1998 年、担当医の F 先生から作業所を紹介されて作業所勤めに。楽ですね。

1988 年、J 先生のもとを去ったあと、月々 10 万円以上の生活費を得るため、杉田の冷凍食品の工場面接を受けることに。工場の看板には「中国残留孤児の家」と書いてありました。面接には Y 専務が「天野君、お金が目的なんだよ。仕事は手段に過ぎないんだよ。」と。僕は「わかりやすいことを言うなあ。」と感心して就職。自分の時間に漫画を描こうと思っていたのに、冷凍庫の作業で疲れて疲れてそれどころじゃないんです。

ラーメン屋の店員だった KY。店主の兄が工場の課長で、その下で働くことになり 17、8 歳の KY が先輩に。KY は仕事のわからない 26 歳の僕に「お前、何やってんだよ。」と。そんな KY も何か月かして「こんな会社どうなってもいいや。」と言ってクビにされ、何日かして、仕事をしている僕に「お前、事務所に行って俺のことを聞いてきて。」と。年上の人にものを頼むときでさえ「お前」と言う無知蒙昧(もうまい)の KY に対して、「僕はもう関係ねえよ!!」

工場働きながら本や雑誌は読んでいました。「格闘技通信」の中で無門会の富樫さんは空手をプロ、セミプロ、アマチュアとランク付けをしていて、僕は「自分の漫画はアマチュアどころか、趣味でさえもなかったんじゃないのか。甘かった。」

無門会空手の究極の技(わざ)は「受即攻」(注:受けと攻撃を同時に出すこと)。

1987 年から始めた太極拳。「格闘技通信」には太極拳のことも載っていたので読んでいたのです。

「なぜ?」という意識を持てば、テレビからもラジオからも新聞からも小説からも漫画からも答えが出来ます。

以上、1980 年代の 26 歳くらいの僕でした。



北鎌倉 円覚寺  
さし(はだしの邑)





I.K(ベイサイド西之谷)



書道作品(百合の樹)



K.T (ろばの家)



A.Yさん(会員)

なぜ、精神障がい者の支援なのか？

NPO 法人 ろばと野草の会

理事長 瀬戸英治

ろばと野草の会の成り立ちは、横浜市中区の寿地区において、精神に障がいを持った人たちが多く見られ、そしてそれらの人がほとんど放置に近い状態になって気がついた人たちが、精神障がい者の居場所を作ろうして始まったことは以前にも述べました。では、どうして寿地区に精神に障がいを持つ人たちが集まっていたのでしょうか？

ろばと野草の会の前身の野草の会とろばの会が活動し始めたころは、日本は高度成長期からバブル期へと向かう途上でした。これらの時期に日本の社会は、構造が著しく変化し、仕事は複雑になり、効率が優先され、家庭では核家族化が進みました。それによって、それまで大家族や農村社会などが包含してきた精神障がい者が、その地域で居場所を失っていきました。かつて地方から大都市へ流入してきた労働者の受け皿だった寄せ場が、今度は行き場所を失った精神障がい者の新たな居場所となっていたのです。この時期に近い 1993(平成 5)年の統計によれば、全国の精神障がい者の総数は約 157 万人でした。80 人に 1 人が精神障がい者という状況でした。昔の精神衛生法下では、精神障がい者は入院していることが当たり前、家庭においても隠す存在でしたから、日常の中で精神障がい者と出会うことはそう多くはありませんでした。しかし寿町では精神障がい者は普通に存在する。これはショックでした。まして 80 人に 1 人というのは、自分が、家族が、友人が精神疾患にかかってもおかしくない、すなわち他人事ではないと考えたからです。

あれから 30 年が経ちます。厚生労働省の 2023 年度版の障害者白書によれば、精神障がい者の総数は約 614.8 万人です。当時の 4 倍になります。実に 20 人に1人が何らかの精神疾患を患っていることになります。増加の原因はうつ病や依存症、そして認知症(アルツハイマー)の増加です。それでも 20 人に 1 人というのは、もはや精神障がい者と何の関わりもなく生きるのは難しいという数字です。

精神障がい者になっても地域で安心して暮らして行ける社会を実現するということは、精神障がいを持っていないものも安心して暮らせる社会を作ることに他ならないのです。

ありがとうございます

(二〇二四年六月〜九月)

会費

54 者の個人・団体会員の皆さまからいただきました。

寄付金(順不同、敬称略)

寿地区活動委員会様をはじめ、15 者の個人・団体の皆さまからいただきました。

事業所寄付金・献品

就労継続支援 B 型事業所

ろばの家

百合の樹

はだしの邑

に直接いただいております。

皆様からの会費・寄付金・献品は、法人及び各事業所の活動の一部に充てられております。

今後とも、皆さまのご支援をお待ちしております。

編集後記

朕は久しぶりに編集委員会に出席することが出来て、嬉しく思っている。

『光る君へ』の一条天皇こと、

葦原果戈里



ろばと野草 第一〇一号

【発行】二〇二四年十一月一日  
【発行者】特定非営利活動法人 ろばと野草の会

【編集】理事長 瀬戸英治  
青山法子 葦原果戈里  
笠間夕里 川崎圭子  
田口環 西村佳三

【題字】宮崎雄一郎  
【発行所】佐々木和美

【発行所】ろばと野草の会事務局  
〒二三一〇〇二六  
横浜市中区寿町三、十一、十三

金岡ビル三〇一  
TEL 〇四五・二六四・八六〇七  
FAX 〇四五・二六四・八六〇八

【Eメールアドレス】  
robotoyasoo@galaxy.ocn.ne.jp

【ホームページ】  
http://robotoyasou.com/

【印刷所】就労継続支援 B 型事業所 百合の樹